

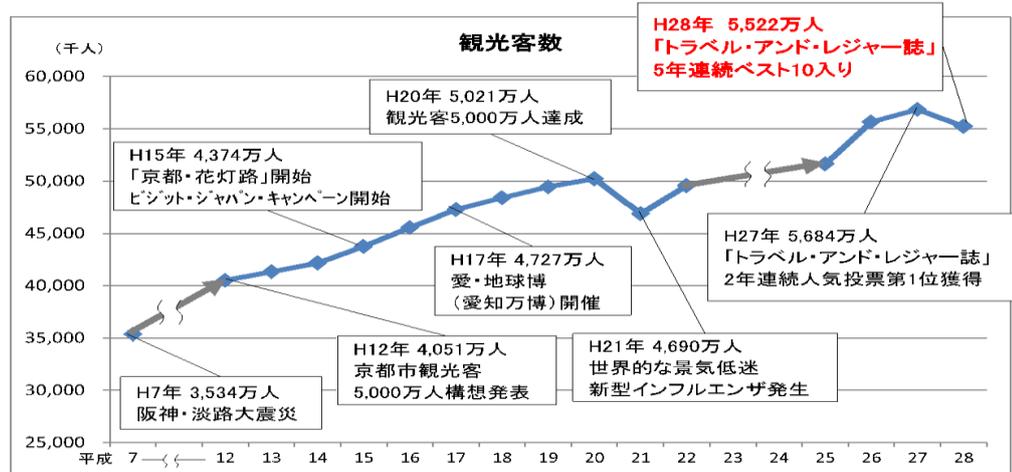
観光・交通について

《現状・課題》

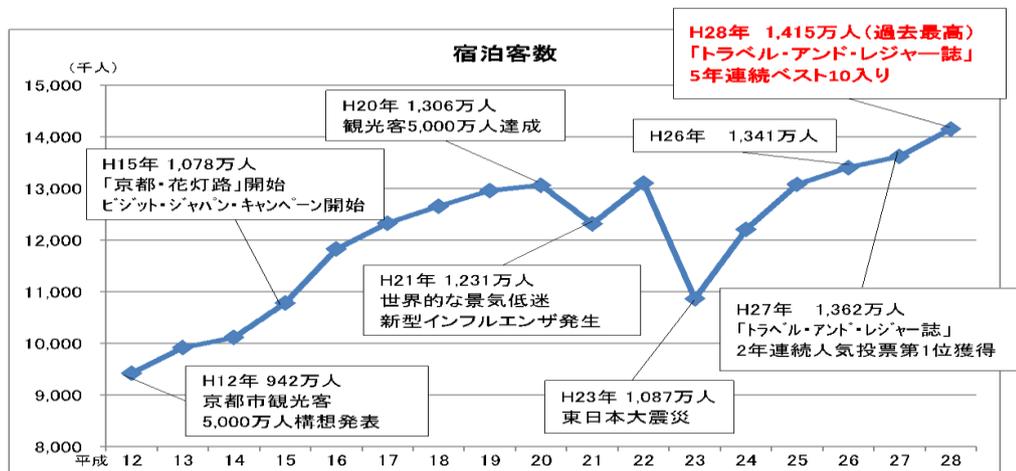
- 都心部や観光地において、生活交通と観光交通が錯綜し、交通混雑が生じている。
- マイカーの流入による交通混雑だけではなく、観光バスの路上滞留や歩行者の過度な集中による雑踏の発生、公共交通機関の車内や乗降場における混雑など、様々な側面で課題が生じている。

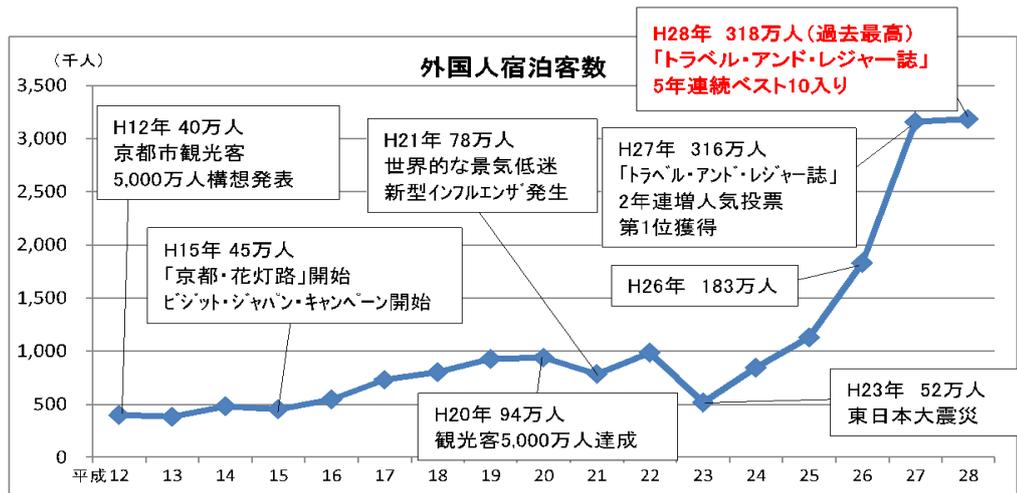
《観光客の動向》（京都観光総合調査より抜粋）

- 平成28年の京都総合観光調査によると、京都市への年間観光客数は、3年連続で5,500万人台を維持し、前年から162万人、2.9%減少の5,522万人（1日当たり約15.1万人）となった。
- 年間宿泊客数は、前年から53万人、3.9%増加し、過去最高となる1,415万人（1日当たり約3.9万人）となり、外国人宿泊客数についても前年から2万人、0.6%増加し、過去最高となる318万人となった。
- 京都観光の残念度に関する調査（日本人）では、混雑に関する残念度が高い状況にある。



(注意) 平成23年及び平成24年は調査手法の変更により観光客数を推計していません。





(3) 京都観光の残念度(日本人)

～残念なことがあった観光客は約4割強～

残念なことがあったという回答は引き続き減少しています。

項目	残念があった		残念がなかった	無回答	合計	
	内容の記入あり	内容の記入なし				
残念度 (日本人)	平成28年	43.8%	0.1%	48.3%	7.8%	100.0%
	平成27年	47.4%	0.2%	44.2%	8.2%	100.0%
	平成26年	51.4%	0.0%	48.5%	0.1%	100.0%

(4) 個別残念度(日本人)

～「人が多い、混雑」、 「電車、バスなどの公共交通機関」の残念度が上位となっています～

混雑や公共交通、マナー等への残念度が昨年より増加しています。

分類	割合		例
	平成28年	平成27年	
人が多い、混雑	15.0%	13.8%	・人が多くて、ゆっくり楽しめない ・バスが混雑しすぎていて利用を諦めた
電車、バスなどの公共交通機関	12.3%	8.5%	・交通機関が分かりにくい ・バスの運転手が親切でなかった ・バスの乗降がスムーズでないため、時間がかかった
マナー	9.0%	7.9%	・観光客の中にマナーの悪い方がいた
トイレ	8.5%	8.3%	・トイレの数が少なく、汚かった ・和式トイレが多かった
京都人のおもてなし	7.3%	4.3%	・店の人の対応が悪い ・観光客を歓迎する気持ちが感じられなかった
交通状況(道路の渋滞等)	6.4%	11.4%	・駐車場が少なく、車が停めにくい場所があった
気候	5.9%	7.1%	・雨が降って、ゆっくり観光ができなかった
食事	4.6%	3.3%	・観光地に食事する所が少なく、なかなか食事ができなかった ・値段のわりに、量も味もいまいどだった
寺院・神社、名所・旧跡	4.0%	3.9%	・どこの寺院も工事が多く、残念だった ・案内板が少なく、分かりにくい
タクシー	3.7%	2.6%	・地理を知らない運転手がいた ・運転が荒く、接客態度も悪かった
料金が安い	3.5%	3.8%	・宿泊料金がものすごく上がった ・全体的に食事費用や、拝観料が高い
目当てのものが見られなかった	3.1%	1.8%	・時間がなく、目当てのものが見られなかった
京都のまちの雰囲気	2.9%	3.0%	・キャッチセールスが多かった ・全国チェーンの店舗が増えた
宿泊施設	2.9%	2.6%	・満室が多くホテルの予約が困難だった ・ホテルの接客が悪くなっているように思う
観光施設	2.7%	2.2%	・座る場所、休憩所が少ない ・営業時間が短い
観光案内所や観光標識などの情報提供や案内	2.5%	5.2%	・案内標識が少ない ・外国語表記が外国人に伝わっていないようだった
時間が足りなかった	1.9%	1.9%	・時間が足りなくて、行きたい所にたどり着けなかった
自然・風景	1.4%	5.9%	・紅葉の時期には少し早かった
ごみ	1.3%	1.7%	・ごみが落ちていた
タバコ	1.1%	0.8%	・タバコを吸いながら歩いている人がいた

(3) 京都観光の残念度(外国人)

～約8割の方が残念なことがなかったと回答～

約8割の外国人観光客が、京都観光で残念に思ったことがなかったと回答されており、残念なことがあったと回答された方の割合が減少しました。

[無回答を含む]

項目		あった	なかった	無回答	合計
残念度 (外国人)	平成28年	16.7%	78.6%	4.7%	100.0%
	平成27年	17.4%	74.8%	7.8%	100.0%
	平成26年	10.9%	80.1%	9.0%	100.0%

<方面別残念度(平均)>

項目		北米	オセアニア	欧州	中国	台湾	韓国	香港	東南アジア
あった	平成28年	15.6%	6.9%	17.4%	26.0%	13.9%	12.8%	14.3%	10.7%
	平成27年	11.2%	4.5%	14.4%	25.0%	23.1%	15.6%		15.8%
	平成26年	6.6%	6.7%	13.2%	12.7%	9.5%	14.8%		12.7%
なかった	平成28年	79.4%	85.3%	79.3%	67.4%	82.5%	80.5%	81.9%	88.6%
	平成27年	83.0%	88.0%	77.8%	64.8%	70.8%	76.3%		79.5%
	平成26年	81.9%	77.4%	78.2%	80.3%	84.9%	71.3%		75.8%
無回答	平成28年	5.0%	7.8%	3.3%	6.6%	3.6%	6.7%	3.8%	0.7%
	平成27年	5.8%	7.5%	7.8%	10.2%	6.1%	8.1%		4.7%
	平成26年	11.5%	15.9%	8.6%	7.0%	5.6%	13.9%		11.5%

(4) 個別残念度(外国人)

～残念度の割合が最も高いのは「時間が足りなかった」～

残念だったこととして、「言語、案内、標識」、「寺院・神社、名所、旧跡」が挙げられています。

分類	割合		例
	平成28年	平成27年	
時間が足りなかった	24.2%	28.3%	・時間が足りず、行きたいところを全部回れなかった ・滞在時間が短すぎた
言語、案内、標識	11.7%	12.9%	・英語を話せる人が少ない ・英語の表示が少ない ・観光施設の音声ガイドの機械が全て借りられていて利用できなかった
寺院・神社、名所・旧跡	11.7%	12.1%	・閉門時間が早い ・ガイドツアーの時間が短かった
物価	10.4%	5.7%	・価格がとても高い ・交通費が高い
電車・バスなどの公共交通	9.5%	6.4%	・公共交通機関が混雑している ・交通網が複雑
自然	8.1%		・桜が見られなかった ・自然があまりない
気候・天候	7.2%	13.6%	・雨で楽しめなかった ・雨が降ってきた
人が多い・混雑	5.9%	6.4%	・観光客が多く混雑していた ・人が多すぎて、楽しめなかった
食事	5.9%		・ベジタリアン用のメニューがない ・レストランの予約が取れなかった
歴史、伝統文化	5.4%		・着物を着ることができなかった ・芸妓さんを見られなかった

《本市において実施している対策》

○ 観光地交通対策の実施

秋の紅葉シーズンのピーク期に嵐山エリア及び東山エリアにおいて、交通の円滑化と安全で快適な歩行空間の創出を目的として、臨時交通規制、車両の迂回誘導、市営観光駐車場のマイカー駐車禁止及び観光バス予約制、歩行者の誘導等を総合的に行う観光地交通対策を実施している。

【参考】「歩くまち・京都」総合交通戦略における関連箇所の記載

観光地交通対策

《施策の方向性》

パークアンドライドの通年実施を目指します。

歩かないと楽しめない京都の魅力を最大限に引き出します。

京都市内全体がアミューズメントパークのように巡れる姿を目指します。

《具体的な施策》

- 京都市周辺地域でのパークアンドライドの通年実施
- 宅配機能付きのコインロッカーや宿泊施設と連携したキャリーサービスの促進
- 鉄道駅を拠点としたレンタサイクルやカーシェアリングの普及
- 駅やバス停及びその周辺におけるサイクルアンドライドの推進

《意見交換》

- 課題が生じている背景やそれを踏まえた解決策（現在の技術等で実施可能なもの）について、どのようなことが想定されるか。
- 課題に対して、自動運転の活用を検討する場合、どのような方法が考えられ、どのような効果が期待できるか。